

中小企業成長支援ファンド

「グロービス6号ファンド投資事業有限責任組合」に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永厚志）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、グロービス6号ファンド有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として30億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『グロービス6号ファンド投資事業有限責任組合』（以下、「本組合」）では、投資戦略として“First to Last”を掲げ、シード・ラウンドから時価総額1,000億円を超えるユニコーン・ラウンドまで継続的に投資を行い、ハンズオン支援を通じて投資先企業の育成に努めながら、企業価値の向上を目指すファンドです。

中小機構では、本組合への出資を通じて、日本の新たな産業創造と日本発ユニコーン・ベンチャーの育成を促進することで、日本経済の活性化につながるものと考えております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援してまいります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

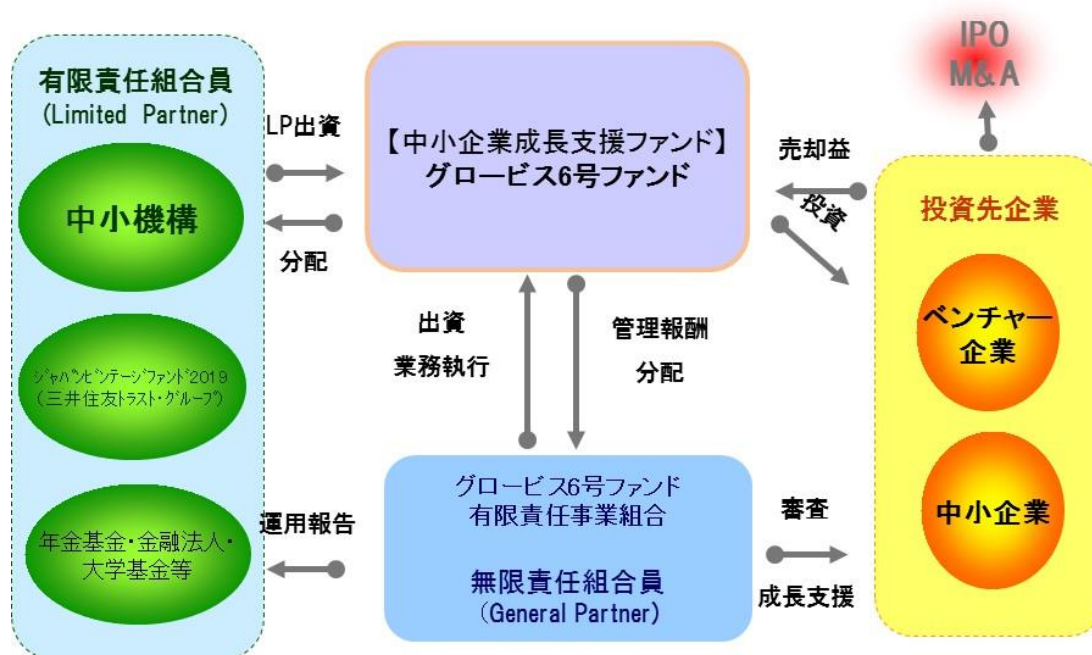
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：山岸、豆谷）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル
電話：03-5470-1570（ダイヤルイン）

◆「グロービス6号ファンド」の概要

- 「グロービス6号ファンド投資事業有限責任組合」は、グロービス6号ファンド有限責任事業組合を無限責任組合員として、平成31年3月に設立された投資ファンドです。並行して設立したファンドを含めたファンド総額は360億円（一次募集時点。6月末最終募集時点で375億円を予定。）になります。
- 投資の分野については、インターネット・モバイル案件に加え、非ITセクターにおけるIT活用・IoTによる変革案件、新技術（AI、IoT、ブロックチェーン等）にも着目します。
- グロービス6号ファンド有限責任事業組合はグロービス・キャピタル・パートナーズ（株）（東京都千代田区、代表取締役：堀義人）を中心として、本組合の組成に伴い設立されました。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf